

「第2回日本・モンゴル学生フォーラム」プログラム  
学生参加者 募集要項

## I. 事業概要

### ■概要

「日本・モンゴル学生フォーラム」は、令和4年度に日・モンゴル外交関係樹立50周年記念事業・青少年交流推進年記念事業として実施されました。その後、令和4年11月の日・モンゴル首脳会談の際に発出した共同声明で、両首脳は、「両国国民の交流や相互理解の深化を引き続き促進し」、「特に次世代を担う両国の若者の交流の深化を図っていく」ことを確認しました。また、同共同声明の付属文書である日本とモンゴルの行動計画には、「日本・モンゴル学生フォーラム」を含む青少年等の人的交流事業促進のための方策の継続・強化が盛り込まれました。

これを踏まえ、令和4年度に引き続き、日本とモンゴルの関係促進の礎である国民間の交流・相互理解を深めるとともに、特に若い世代の関心を掘り起こし、若者同士の協力関係を醸成することを目的として、両国の学生が共通の課題について議論する、「第2回日本・モンゴル学生フォーラム」を実施することとなりました。

「第2回日本・モンゴル学生フォーラム」では、日本人学生及び日本に留学するモンゴル人学生が、「日モの未来を創造する。もしも私が〇〇だったら」というテーマの下で、両国関係発展のための課題について、3日間全7講座のオンラインでの事前学習を経た上で、2泊3日の兵庫県での合宿で、テーマごとに分かれたワークショップにおけるグループ討論を行い、未来図を描いて全体会で発表します。また、合宿では、地域の取組視察をするほか、日モ文化の交流・体験等の時間を共に過ごします。

なお、参加者の安全を確保するため、新型コロナの感染状況等によっては、直前でプログラムを中止又は内容を変更する場合がございますので、予めご承知おきください。

### ■期間

①事前オンライン学習会： 2023年7月23日(日)、7月30日(日)、8月6日(日) 予定

1回目：7月23日(日) 12:50～16:15 (講座は90分×2回、途中休憩あり)

2回目：7月30日(日) 13:00～16:15 (講座は90分×2回、途中休憩あり)

3回目：8月6日(日) 10:30～16:15 (講座は90分×3回、途中休憩あり)

②合宿： 2023年10月7日(土)～9日(月・祝) 予定

※参加者の自己都合によるキャンセルにより、費用負担が発生した場合、発生した費用については、参加者ご自身に負担いただきます。

### ■場所

①事前オンライン学習会： オンライン開催

②合宿： ホテルシルク温泉やまびこ

〒668-0361 兵庫県豊岡市但東町正法寺165

TEL:0796-54-0141 URL:<http://www.silk-yamabiko.co.jp/>

## ■募集人数

①事前オンライン学習会：人数制限なし

②合宿：日本人20名、日本留学中のモンゴル人20名

※参加条件については、P.4の「Ⅲ. 参加申し込み」をご確認ください。

## ■実施・運営 外務省が委託する下記企業による実施

近畿日本ツーリスト株式会社 公務営業支店

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-13 住友商事神田和泉町ビル 13 階

メールアドレス：[ecc5-15@or.knt.co.jp](mailto:ecc5-15@or.knt.co.jp) TEL:03-6891-9305

※休業日・営業時間外にお送りいただいたお問い合わせは、翌営業日以降の返信となります

営業日・営業時間 月～金 10:00～17:00

※(土・日・祝日休、GW(4/29～5/7)はお休みとなります)

## II. プログラム

### ■主なプログラム内容(予定)

#### ①事前オンライン学習会

(1) 開会/閉会セッション

(2) 専門講師によるオンライン講座

(内容:モンゴル基礎講座×全3回、合宿討論テーマ別講座×全3回、その他)

※モンゴル基礎講座

#### ・「私とモンゴル～頼れる友人～」

小林 弘之氏(モンゴル国駐劔特命全権大使)

外交官として日本モンゴル関係に長年携わった自身の体験を通して、将来の日本とモンゴルの関係について展望します。

#### ・チンギスハーン国際空港とその周辺開発-現状と展望-

今吉 萌子氏/水上 貴裕氏(独立行政法人国際協力機構(JICA))

チンギスハーン国際空港ができるまでの道のりと、この先の、空港周辺地域の開発に向けたJICAの協力をご紹介します。

#### ・モンゴルの遊牧の普遍性と独自性

-「森と砂漠を結ぶ国際シンポジウムin但東町」で議論されたこと、そして今-

今岡 良子氏(大阪大学 人文学研究科 准教授)

1994年に44人のモンゴル人が但東町を訪問し、遊牧民の地域づくり、それを支援する科学者の知見を報告し、日本からは農家の村おこしの経験を紹介するシンポジウムが行われました。それが現在も続く理由を遊牧の原理から解き明かします。

※合宿討論テーマ別講座

#### ・チンギスハーン空港周辺に両国の若手が活躍できる場をつくる！

Sh.ブヤンジャルガル氏

(有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所 執行役員兼USPモンゴル社長)

モンゴルのチンギスハーン空港から飛行機で6時間旅してみたらどんな世界が見えるでしょうか。

一緒に想像してその世界を実現してみませんか。

・2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)ー概要と各国パビリオンに期待するものー

宮川 洋一氏

(公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 国際局エグゼクティブリエゾンディレクター)

万博は国際博覧会条約(BIE条約)に基づいて開催される、世界の多くの国が一同に集まって開催される博覧会です。最初の万博、1851年ロンドン博から170年を超えた今、世界は大きく変わりましたが、変わらない万博の理念が存在する一方、意義や役割は時代とともに変化しています。

皆さんと共に現代における万博の意義・役割とモンゴルを含めた出展参加のあり方を考えたいと思います。

・大阪・関西万博のモンゴルパビリオンをデザインする！

中島 たかを氏(株式会社BRICKS チーフデザイナー)

万博とパビリオンにおけるデザインの役割とその変遷や、近年の万博パビリオンデザインの特徴や傾向を学び、10月に行われる合宿に繋げるための準備についての説明を行います。

その他、昨年の学生フォーラムに参加した学生有志が組織した学生準備委員会「日本モンゴル学生フォーラムSC(Student Committee)～2023～」による特別セッションもあります。

## ②合宿

- (1) 全体会合(開会セッション)
- (2) 主催者挨拶、日本・モンゴル両国学生代表による自国紹介プレゼンテーション等
- (3) 日本・モンゴル民族博物館視察
- (4) 日本・モンゴル文化体験・交流
- (5) テーマ別ワークショップ(テーマごとに分かれ討論、プロポーザルの策定)

### テーマA: チングスハーン空港周辺に、両国の若手が活躍できる場をつくる！

建設から運営まで様々な形で日本が協力しているチングスハーン国際空港は、日本とモンゴルの協力の新たな象徴案件とされます。モンゴル政府からの要望を受け、JICAは調査を実施し、空港周辺整備のロードマップ案を提案しました。また、技術協力プロジェクト「トブ県フシグ谷の新都市の開発に係る投資促進及び経済自由地域関連法制度整備支援プロジェクト」を実施することを決定しました。

上記背景を踏まえ、自分が空港周辺開発の担当者だったらと仮定し、空港周辺という立地を生かしつつ、「両国の若手が活躍できるまちづくり」、すなわち、リアル・バーチャル問わず、モンゴルと日本(とその他の国々)からの才能あふれる若者が集い、持続的に挑戦・発信ができる環境・空間の仕組みをデザインし、提案しましょう。

### テーマB: 大阪・関西万博のモンゴルパビリオンをデザインする！

2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)は、以下のとおり開催され、モンゴル国もパビリオンを出展する予定です。

会期 2025年4月13日～2025年10月13日

開催地 大阪府大阪市夢洲地区

テーマ いのち輝く未来社会のデザイン

(Designing Future Society for Our Lives)

サブテーマ Saving Lives(いのちを救う)、Empowering Lives(いのちに力を与える)、  
Connecting Lives(いのちをつなぐ)

想定入場者数 約2,800万人

また、2022年11月29日に発表された「平和と繁栄のための特別な戦略的パートナーシップ設立のための共同声明」付属文書「日本・モンゴル共同声明付属文書「日本とモンゴルの行動計画(2022年から2031年)」には、両国が、「大阪・関西万博 EXPO2025 を通じたモンゴルの対外 PR への協力」を推進していくことが記載されています。

ワークショップでは、自分が万博来場者だったらと仮定し、どんなモンゴルパビリオンであれば行きたいと思うか、あるいは日本(とその他の国々)の友人・知人に見せたいと思うかとの視点で、大阪・関西万博のテーマ及びサブテーマを踏まえ、工夫を凝らした展示や演出を考え、モンゴルパビリオンをデザインし、提案しましょう。

(6) 全体会合(閉会セッション)

(7) 各グループのプロポーザル発表、講評等

※ 新型コロナの影響等によりプログラム内容は変更される可能性があります。

#### ■合宿の事前準備・プログラム中の活動・事後活動

##### ①事前準備

- (1) 全7回の事前オンライン学習会へ参加
- (2) 事前オンライン学習会後のアンケート提出
- (3) 開会セッションにおけるプレゼンテーションの準備(両国代表者(\*別途公募予定)のみ)

##### ②合宿中の活動

- (1) 意見交換等に積極的に参加し、議論に貢献
- (2) 参加者間のグループワークと報告会での発表
- (3) 豊岡市の取組視察(日本モンゴル民族博物館を予定)
- (4) モンゴル文化体験・交流
- (5) 日本文化体験・交流

##### ③事後活動

- (1) 事後アンケートの提出

※他:本プログラムに関する情報や感想を、#モンゴル、#日・モ学生フォーラム、#大阪・関西万博、等のキーワードにてご自身のSNSアカウント等で発信する事を歓迎致します。

### III. 参加申し込み

■参加条件 本事業の趣旨を理解した上で参加できる者を対象とします。

#### ①事前オンライン学習会・合宿参加者 共通

- (1) 参加時に日本またはモンゴル国籍を有する学生であること(年齢原則18~28歳)※1
- (2) 日本語での意思疎通が可能な者

- (3) 本プログラム中に撮影した画像や映像を外務省のホームページ等に掲載する事について同意すること  
(事前オンライン学習会時に撮影をした集合写真等は本プログラムの公式Facebookページ等に掲載させて頂く予定です。)

## ②合宿参加者

- (1) 全7回の事前オンライン学習会全てに参加し、事後アンケートに回答した者
- (2) 申込時点で日本国内の大学、大学院、高等専門学校、短期大学、専門学校等に所属している者
- (3) 心身ともに健康であること※2
- (4) 規律ある団体行動ができ、プログラム参加上のルール(自由行動不可、無断外出禁止等)に従うこと
- (5) 本事業の趣旨・目的を理解し、意見交換や各種プログラム等に積極的に参加し、議論に貢献する意欲を有すること
- (6) 「IV.本プログラム参加における責任範囲」に同意すること
- (7) プログラム内容における手配および参加者との連絡のために必要な範囲内での外務省、協力企業、運送・宿泊機関、提携の団体等への個人情報の提供について同意すること
- (8) 合宿の全日程に参加できる者

※1 学生である事、日本またはモンゴル国籍を所有していることについて証明書等にて確認させていただきます。

※2 本プログラムは集団行動であり、また多忙なプログラムスケジュールにも耐えうる体力・精神力が必要となるため、既往症又は慢性疾患、怪我の治療中や妊娠中等の場合は原則として参加は認められません。

## ■プログラム費用

### ①本事業負担

事前オンライン学習会費用、合宿時の最寄駅・空港から宿泊場所までの往復交通費(※)、  
合宿プログラム中の食費・宿泊費・交通費、旅行傷害保険料

※最寄駅:福知山駅、最寄空港:但馬空港より往復送迎バスを手配します。

<詳細>

・宿泊場所: 10/7(土)~9(月)(2泊3日) ホテルシルク温泉やまびこ泊 (4~5名一部屋を予定)

・食事回数: 朝2回、昼1回、夕2回 ※1日目、3日目の昼食は各自購入。

・添乗員: 全行程同行いたします。

・旅行傷害保険: 個人用保険タイプ(自宅~帰宅)補償タイプ

(死亡後遺傷害520万、入院保険日額5,000円、通院保険日額3,000円、

賠償責任保険1,000万、携行品損害保険(免責3,000円)15万円、救援者費用等50万円)

※手術保険金:入院保険日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)の額をお支払いします。

### ②参加者負担

自宅から最寄空港・駅(※)までの往復交通費、及び現地集合の場合自宅から宿泊場所までの往復交通費、前泊/後泊が必要となる場合の宿泊費、ホテル宿泊時に発生する宿泊費以外の個人的経費、電話、クリーニング等)、私的な買い物の費用、本事業で費用負担する旅行傷害保険とは別に参加者が任意で加入する保険料等、参加決定後の自己都合によるキャンセルで発生する費用、その他本事業負担に含まれない費用

※最寄空港:但馬空港 最寄駅:JR福知山駅

## ■応募方法

下記URLのページよりお申込みください。

お申込みページURL:[https://camail.knt.co.jp/form/pub/knt\\_ecc4/jpmnform-2](https://camail.knt.co.jp/form/pub/knt_ecc4/jpmnform-2)

応募締め切り:**2023年7月14日(金) ※期限延長いたしました。**

## ■選考結果通知

合宿の参加者は上限がある為、予定の人員を超える参加希望があった場合は、実施・運営業者にて合宿参加学生を選抜し、結果を応募学生にお知らせします。選考結果の通知は事前オンライン学習会実施後に行います。

※ 応募の内容について、詳細をお電話にてお伺いする場合があります。

※ 選定理由を含む合宿参加の可否に係る個別のお問合せには、お答えできません。

(今後の予定)

2023年6月22日(木)⇒**2023年7月14日(金)**まで 参加者募集

2023年7月中旬 申込者へ事前オンライン学習会のご案内(URLを送信予定)

2023年7月23日(日)、7月30日(日)、8月6日(日) 事前オンライン学習会の実施

2023年9月初旬 合宿参加者の選考結果ご連絡、参加者へ合宿のご案内

2023年10月7日(土)～9日(月・祝) 合宿開催

## IV. 本プログラム参加における責任範囲

- ①新型コロナの感染状況等やむを得ない事由により、旅程や宿泊先が変更になる場合があります。
- ②合宿期間中、参加者の健康状態や行動等が不適切と判断した場合、プログラム参加を取り消す場合があります。参加取消しによって生ずる費用は、当該者に請求する場合があります。
- ③合宿期間中において、第三者(バス会社、ホテル等宿泊施設及びレストランを含む)及び参加者同士のいかなる行動や過失、参加者及び所持品に対する損害について、一切の責任を負いません。
- ④本プログラムは、新型コロナの感染状況等を確認・判断の上実施いたしますが、安全管理の責任は参加者自身にございますので、安全管理面に問題ないご判断の上ご参加ください。なお、参加者にはプログラム参加前の各自での健康観察(毎日の検温等)を行っていただく予定です。
- ⑤本プログラムへ学生が参加されるに当たり、授業を休む場合の扱いについては、所属先の学校に御相談願います。

## V. 本件に関するお問い合わせ

近畿日本ツーリスト株式会社 公務営業支店

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-13 住友商事神田和泉町ビル13階

メールアドレス: [ecc5-15@or.knt.co.jp](mailto:ecc5-15@or.knt.co.jp)

TEL:03-6891-9305 (担当:伊藤(留美)、岡田(佳高)、金子)

※休業日・営業時間外にお送りいただいたお問い合わせは、翌営業日以降の返信となります。

営業日・営業時間 月～金 10:00～17:00

※(土・日・祝日休、GW(4/29～5/7)はお休みとなります)

※Facebook、Instagram で随時情報発信中

<facebook> 日本・モンゴル学生フォーラム公式 SNS

<https://www.facebook.com/Japan.Mongol.50th/>

アカウント名: 日本・モンゴル学生フォーラム

<Instagram> 日モ学生フォーラム SC~2023~の SNS

昨年の学生フォーラムに参加した学生有志による、学生準備委員会が Instagram を開設しています。

[https://instagram.com/jp\\_mn\\_student\\_forum?igshid=YmMyMTA2M2Y=](https://instagram.com/jp_mn_student_forum?igshid=YmMyMTA2M2Y=)

アカウント名: jp\_mn\_student\_forum